

第 1 回 農業用ため池の管理保全施策の施行状況の点検・検証に係る委員会 委員意見とその対応について

番号	委員からの意見		対応案
1	平松 委員 長	この法律は、勧告・命令・代執行・施設管理権・罰金・過料等と強い権限を行使できる。一方で、仮に行使すべき状況が生じたら、現場ではなかなか行使しにくいという意見があった。今後、具体的な判断基準や手続き、マニュアル等を示していく必要があるのではないか。他方、こうした権限を行使するのは、（一律での対応ではなく）ケースバイケースでの対応が多いと思われるので、相談窓口を設置することも有効ではないか。	○ため池管理保全法に規定されている勧告、命令、代執行、催告、罰金、過料等について、それぞれ手続きの方法を整理し、地方公共団体に周知することとしたい。 他方、事案ごとに背景等が異なり、こうした権限を行使するか否かは、事案ごとにケースバイケースで判断すべきものと考えられる。また、罰金や過料に処する場合、その額については裁判所等が判断することとされている。このため、マニュアル等を作成し、権限を行使するか否かの具体的な判断基準等を示すことは困難と考える。 このため、こうした事案が生じた場合には、その都度、農林水産省（本省）又は地方農政局の防災課に相談するよう、地方公共団体に周知することとしたい。 ○代執行や催告については、ため池管理保全法に基づいて実施された事例があることから、こうした事例を整理し、地方公共団体に周知することとしたい。 ○上記については、本委員会の点検・検証結果に反映させる方向で検討したい。
2	平松 委員 長	特定農業用ため池の数が多く、ため池管理保全施策に係る市町村の業務負担が大きいとの意見があった。特定農業用ため池の指定要件の見直しは慎重であるべきだと思うが、一方で、市町村の業務負担を軽減するために、何らかの対応を検討することも視野に入れてはどうか。	○特定農業用ため池の指定要件は、過去に決壊した様々な農業用ため池の氾濫解析結果を分析し、有識者の意見を聴いた上で設定されたものであり、これを見直すことについては慎重であるべきと考える。 ○他方、農業用ため池の管理保全施策に係る市町村の業務負担が多いとの指摘を踏まえ、その軽減策を検討することを、本委員会の点検・検証結果に反映させる方向で検討したい。

第1回 農業用ため池の管理保全施策の施行状況の点検・検証に係る委員会 委員意見とその対応について

番号	委員からの意見		対応案
3	平松 委員 長	都道府県や市町村から、防災重点農業用ため池以外の農業用ため池に対する支援も充実してもらいたいとの要望があった。今後、検討すべきではないか。	○ため池の管理保全施策に対する要望として、「防災重点農業用ため池以外のため池に対する支援も充実してもらいたい」と回答した県に確認したところ、「ため池サポートセンターの活動支援事業（国補助）の対象に、一般の農業用ため池も含めてもらいたい」等の意見があった（現在は、防災重点農業用ため池のみが対象）。 このため、防災重点農業用ため池以外の農業用ため池に係る支援の在り方を検討することとし、その結果については、本委員会の点検・検証結果に反映させる方向で検討したい。
4	石井 委員 竹田 委員	ため池サポートセンターが果たす役割には非常に大きいと認識している。サポートセンターが有する課題を把握し、サポートセンターの活動をどのように継続させるか議論していくべきではないか。	○ため池サポートセンターの課題を把握、分析した上で、同センターの支援の在り方を検討することとしたい。 ○全国のため池サポートセンターの取組の中で優良事例を収集し、地方公共団体に周知することとしたい。 ○上記については、本委員会の点検・検証結果に反映させる方向で検討したい。

第1回 農業用ため池の管理保全施策の施行状況の点検・検証に係る委員会 委員意見とその対応について

番号	委員からの意見	対応案
5	竹田委員 調査対象の市町村は、主に農業用ため池が多い市町村を抽出しているということなので、調査結果は農業用ため池が多い市町村の意見である。農業用ため池が少ない市町村の意見を把握すべきか、また、把握すべきであればどのようにして把握するか、考えてはどうか。	○アンケート調査における市町村への設問（全12問）に関し、「ため池が多い15市町村※1」と「ため池が少ない15市町村※2」の回答を比較したところ、ほとんどの設問（12問のうち10問）において、ため池数が多い市町村と少ない市町村の回答にはほとんど差が見られない。 このため、ため池数が少ない市町村の意見を追加的に把握する必要性は必ずしもないのではないかと考える。 ※1：アンケート調査対象市町村のうち、ため池数が多い上位15市町村 ※2：アンケート調査対象市町村のうち、ため池数が少ない下位15市町村 12問のうち10問 →多い市町村と少ない市町村にほとんど差が見られない 例：「国が必要な支援を行っていると思うか」 「多い市町村」のうち11市町村が「思う」と回答 「少ない市町村」のうち12市町村が「思う」と回答 12問のうち2問 →多い市町村と少ない市町村に差が見られる 「多面的機能が発揮されるために取り組んでいることはあるか」 「多い市町村」のうち13市町村が「ある」と回答 「少ない市町村」のうち9市町村が「ある」と回答 「農業用ため池の所有者への援助の実績があるか」 「多い市町村」のうち11市町村が「ある」と回答 「少ない市町村」のうち5市町村が「ある」と回答

第1回 農業用ため池の管理保全施策の施行状況の点検・検証に係る委員会 委員意見とその対応について

番号	委員からの意見		対応案
6	堀 委員	ため池の管理保全における課題として、市町村からため池の管理・保全に必要な人材、資金・資機材の不足との意見が示されているが、具体的にどういった点で不足しているのか把握することが重要と思われる。	○人材が不足していると回答した市町村の回答を分析したところ、不足している人材は以下のとおりであった。 ①ため池管理者及び利用者（営農者） ・ため池の点検、草刈り、水位調整、池干し等を行う者がいない、又は少なくなっており、管理する者の負担が大きい。 ②市町村の職員 ・技術系職員を含めて市町村の職員が不足しており、ため池の維持管理や定期点検に人員を割くことができない。 ○資金・資機材が不足していると回答した市町村の回答を分析したところ、不足している資金・資機材は以下のとおりであった。 ①資金 ・除草、点検、修繕、改修費用が不足している。 ②資機材 ・草刈り機が不足している。 ○以上を踏まえ、ため池の維持管理等に活用することが可能である多面的機能支払交付金等の活用を市町村等に周知するとともに、ため池管理者や市町村職員が不足していること及び資金・資機材が不足していることへの対応策を検討することを、本委員会の点検・検証結果に反映させる方向で検討したい。

第1回 農業用ため池の管理保全施策の施行状況の点検・検証に係る委員会 委員意見とその対応について

番号	委員からの意見		対応案
7	堀委員	管理状況の報告について、意外と少ないと感じた。都道府県の責務かもしれないが、管理状況を把握することは非常に重要と思う。兵庫県のサポートセンターが実施しているようにデジタル化し、管理状況の良し悪しを県や市町村で把握することを推進することが重要と思うがいかがか。	○「管理状況に関する報告を求めたことがない」と回答した都道府県のうち、ため池数が多い複数の県に確認した結果は以下のとおり。 ・普段から必要があればため池の管理状況について市町村から報告を求めている。法に基づいたものという認識がなかったため、「求めたことがない」と回答した。 ○このことから、管理状況の報告を都道府県から市町村に求めることは、普段から行われているのではないかと考えている。 ○また、管理のデジタル化については、GISデータベースを活用して農業用ため池の点検結果等を市町村等と共有した事例、ため池の水位計から得られた水位情報を活用して避難情報の発令につなげた事例、ため池管理アプリを活用して迅速な防災重点農業用ため池の緊急点検を行った事例等、ため池管理におけるデジタル技術の活用事例を収集、整理し、地方公共団体に周知することとしたい。 ○管理のデジタル化については、本委員会の点検・検証結果に反映させる方向で検討したい。

第1回 農業用ため池の管理保全施策の施行状況の点検・検証に係る委員会 委員意見とその対応について

番号	委員からの意見		対応案
8	増田 委員	農業用ため池の多面的機能が発揮されることは、地域にとって重要だと思う。多面的機能が発揮されているとは思わないとしている市町村は、（全体に占める割合は少ないが）意外に多いと感じた（本当にこうした市町村で多面的機能が発揮されていないのか、可能な範囲で確認してもらいたい）	○「多面的機能が発揮されていない」と回答した市町村の主な理由は、「管理が行き届いていないため池が一部にあり、そのようなため池については、多面的機能が発揮されていないと判断したため」とのことであった。 また、「ため池の多面的機能を発揮させることよりも、本来の目的である利水を重視・優先すべきであると考えているが、ため池の多面的機能を発揮させることの重要性は認識している。」との意見もあった。

第 1 回 農業用ため池の管理保全施策の施行状況の点検・検証に係る委員会 委員意見とその対応について

番号	委員からの意見		対応案
9	松下 委員	ため池管理者への援助の実績がない市町村は、援助の必要がないから援助していないのか、あるいは市町村とため池所有者や管理者がよくコミュニケーションできていないから援助していないのか (可能な範囲で確認してもらいたい)	○援助の実績がないと回答した市町村のうち、ため池数の多い市町村に確認したところ、以下の回答があった。 ・ため池管理者等から援助の要望がなかった。 ・援助が必要ということは認識しているが、資金不足により援助できていない。